

ATTENTION

国際分散投資は、やらねば損！

	日本株	米国株	世界株	平均	1/3ずつ
リスク	25.2%	23.4%	21.1%	23.2%	20.6%
年利回り	2.3%	8.5%	7.0%	5.9%	6.7%
1985年末を 1000として	1993	12502	8037		7511

円建て、配当込 1986年1月～2016年12月

日本株、米国株、世界株を1/3ずつ保有した時

3つの資産の平均の利回りより**実際の利回りは高くなり**

3つの資産の平均のリスクより**実際のリスクは低くなる。**

この表は、過去31年間の各地域の株式に投資した場合の投資パフォーマンスを見たものです。日本株は2倍になっているとはいえ、他の地域に比べれば、圧倒的に劣ります。しかも、リスクはもっとも高いのです。今となっては、他の地域に投資していれば、どれだけよかったかということになります。3つの地域に均等に3分の1ずつ投資していたら、1000万円投資して、7511万円になっています。リスクは20.6%、年利回りは6.7%。なんと日本株より2.9倍利回りは高いのに、リスクは2割近くも少ないのです。さらに驚くべきことに、どの地域よりもリスクは低くなり、各地域のリスク3つを足して3で割った平均より実際のリスクは11%低くなっています。そして実際の年利回りは3つの利回りの平均より14%も高いのです。ここに分散投資効果が如実に現われています。日本は先進国の中でも、特に国際分散投資の効用が高い国という調査結果も出ています。日本人の資産運用に、国際分散投資は必須です。

OPINION

国内市場でも、取り残され始めた日本企業

国内市場でも、日本企業は外国企業に後塵を配する状況が出てきています。いまやエアビーアンドビーは、国内に5万件超の民泊物件を持っています。実は、一般住宅に旅行者を泊めることは、日本では民泊を解禁する住宅宿泊事業法が6月に成立するまで、法律違反だったのです。エアビーアンドビーは、お構いなしに、日本市場を先行して押さえた形です。楽天は、法律成立の6月に民泊事業への参入を表明しましたが、すでに遅すぎの感を否めません。

また、自動車の相乗り(ライドシェア)市場が世界で急速に広がっています。いまや中国や東南アジアでは、ライドシェアは日常欠かせない交通手段になっています。ところが、日本では、規制で、ライドシェアは「白タク」に当たるとして認められていません。

世界の潮流は、必ず日本にも押し寄せてきます。ライドシェアも、日本だけ法律で禁止ということをつつまでも続けることは困難です。いざ解禁となったとき、すでにノウハウを積み上げ、厳しい競争を勝ち抜いてきた海外勢が、一挙に日本の市場を席巻する姿が見えてきます。これから日本市場でも、日本企業が外国企業に負ける状況が生まれてくるのが大いに危惧されます。

また、ライドシェアも民泊も、日本企業にはノウハウがありませんから、海外で事業を展開することは望むべくもありません。政府や政治家は、グローバルな視点からこういった規制を緩和、廃止していかないと、日本企業の競争力をますます削ぐことになるでしょう。

MARKET

(7月末)

(6月末比)

日経平均

19,925.18円 → -108.25円
(-0.5%)

NYダウ

21,891.12ドル → +541.49ドル
(+2.5%)

米ドル

110.30円 → -2.14円
(-1.9%)

今月の言葉:

投資で大きくお金を作る方法は、買ったり売ったりしないで、じっとしていること。

-ジェシー・リバモア

なぜ米国株は上がり続けるのか

ニューヨーク・ダウは、あれよあれよと言う間に、先週末21830ドルと最高値を更新しました。今年1月25日20000ドルを突破してから、半年です。年初来のニューヨーク・ダウの上げ幅は10.5%。日経平均は4.4%ですから、2倍以上の開きです。どうして米国株はここまで強いのでしょうか。その理由を探ってみましょう。

1. グローバルな拡張性が高い

グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップルなどを見ると、グローバルな拡張性が非常に高いことが上げられます。これは、上場予備軍のUber、AirBnBなどにもあてはまります。世界中に展開するスピードが速いのです。進出した国の人は、まさに生活必需品のようにそれらを使っています。

2. 柔構造で機敏

新分野への進出、既存事業の見直し、コスト・人員削減などの決定が機敏で、非常に柔構造にできている、ということがいえます。従来の事業をレガシー(遺産)として抱え込むようなことはないのが特徴です。そのため企業の活性がいつも保たれるわけです。

3. 人材がどんどん集まる

米国は人種のるつぼで、さまざまな人種問題が起きていますが、一方で優れた教育システムや国を挙げての人材獲得努力で、世界中から優秀な人材が集まってきました。さまざまな人種が集まるということは、お互いが刺激し合い、創造的活力を高めるといえます。

4. コラボ(協業)や情報の共有に優れる

研究・技術開発での企業と大学また企業同士のコラボ、さらには世界各地の拠点同士の情報共有が多岐にわたり、また壁がないように流れるため、新たなイノベーションや仕組みが生まれやすい環境ができます。すべて自前で抱え込みがちな日本企業とは好対照です。

5. 規制がビジネスフレンドリー

ドローンや自動運転車は米国発です。また白タクともいえるUber、民泊のAirBnBも米国発。米国の規制はビジネスフレンドリーで、革新的製品や新規事業が生まれやすいのです。

6. 罰則・制裁は厳しい

企業の不正に対する罰則・制裁は非常に厳しいです。リーマンショック後、大手金融機関は軒並み数百億ドルの巨額の制裁金を課せられました。価格カルテルを結べば、日本企業の社員でも刑務所行きです。また民間の集団訴訟の損害賠償金も桁外れの額に上ります。このように厳罰に処すので、再犯が起きにくくなります。

7. 株主還元が厚い

米国企業は、株主重視が徹底しています。企業経営に、常に株主が念頭にあるということです。そのため利益を上げることへの意識が大変強いのです。そうなれば必然的に、規律が高まります。米国企業の利益率が日本企業の2倍以上ということは、彼等の利益意識の差をはっきりと表しているといえます。

SEMINAR

大幅刷新！ びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのには大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年近い投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！5名様限定です。お早めにお申し込みください！



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男

日時： 2017年8月26日(土) 15:00~17:00

場所： 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

受付人数：限定5名

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「8月26日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。
Eメール： info@bfsc.jp Tel： 03-6721-8386

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス株式会社

代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386

携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072

電子メール：info@bfsc.jp